

Makuhari's Memory

市町村アカデミーだからこそ得られた大きな財産

新型コロナウイルスの感染が流行してからはオンラインによる研修が主流となる中、北は北海道、南は沖縄県まで、まさに全国津々浦々、あらゆる市町村の職員があえて同じ場所に集まって研修を受けることは、大変有意義であったと感じています。

講義内容についても、基本的な内容から、これから考えていかなければならない応用的な内容まで、また講師陣も、官・民・学の幅広い分野の講師があらゆる視点で公共交通に関する内容をご講義くださり、初日から最終日まで刺激を受けっぱなしでした。

なにより、課題演習は同じグループの仲間と一つのテーマに向かって毎日話し合いを重ね、成果を作り上げました。他の市町村の職員同士が5日間顔を合わせ、膝を突き合わせる機会というのはそう簡単に経験できるものではなく、成果を作り上げたことはもちろんですが、そこで得られた友人関係や絆が一番の成果だと思います。

代表幹事に選ばれ、最初は不安でしたが、本研

修の受講者の皆さんは全員とても優しく接して下さり、至らない点もあったかとは思いますが、皆さんの協力のおかげでなんとか最後まで役割を果たせたかなと思います。最終日前日には懇親会も開催することができ、より多くの皆さんと交流を深めることもできました。

総じて、本研修で得た知識、経験は私にとって大きな財産となりました。本研修で得た知識、経験を決して無駄にはせず、これからの日々の業務に取り組んでいきたいと思っています。



上坂 敦彦

富山県高岡市
都市創造部都市計画課市街地整備係主任
〈受講研修科目〉
公共交通とまちづくり
第37期第1組（令和5年度）